



メロディー講座

曲の構成について

曲はコード + メロディー + リズムが、
大きな柱となり構成される。

コードは曲の雰囲気を作り、
リズムは曲のスピード感などを出す。
つまり、曲の雰囲気はコード + リズムでだいたい決まる。

じゃあメロディーは？

メロディーの役割

メロディーとは主旋律ともいい、曲の主役。
バンドとかで言えば、ボーカルやソロギターが入るところ。
曲の中でとても目立つ部分。

逆に言えばメロディーとコードをしっかりと作りこめば
わりといい感じの曲になる。

メロディーの構成について

ポップス、ロックの場合

イントロ→Aメロ→Bメロ→サビ

といったような具合で構成される。

曲の構成は以下のような一定のパターンで構成されることが多い。

1. イントロ→Aメロ→Bメロ→サビ→間奏→Bメロ→サビ→サビ→アウトロ
2. イントロ→Aメロ→Bメロ→サビ→間奏→Aメロ→Bメロ→サビ→アウトロ
3. サビ→間奏→Aメロ→Bメロ→サビ→間奏→Bメロ→サビ→サビ→アウトロ
4. サビ→Aメロ→Bメロ→サビ→間奏→Bメロ→Cメロ→サビ→アウトロ
5. イントロ→Aメロ→サビ→間奏→Aメロ→サビ→Cメロ→サビ→アウトロ

※イントロ: 曲の始まりの部分

※アウトロ: 曲の終わりの部分

実際にメロディーを作るために

1. メロディーを頭に浮かばせる.鼻歌にして携帯に録音.
あとで音符を入力して完成！(音感がなくても気合で入力)
2. キーボードがある人はおもったままのメロディーを弾いてみよう.
大事なのはDAWで録音しながら弾くこと.
ちょっと失敗したメロディーでも,後で聞き直してみて、気づける点があったりする.
この方法は一番早いしおすすめ、慣れてきたらコードも一緒に弾いてみるといいかも。
3. 適当にDAWに音符を貼り付けて、適当に音符の音程をずらして完成.
先にコードができているなら,
コードを構成している音符を適当にはりつけてみたりするとよい。

大事なことはスケールを守ること.

印象に残りやすいメロディー

- 何回も繰り返すこと
- シンプルであること
- 独特な音程であること

メロディーの注意点

メロディーは曲の中で目立たせる必要があるため、他の音に埋もれないようにする必要がある。

通常は、コードの音域より1~2オクターブ高くしたり、楽器の種類を変えることが多い。

※オクターブ: ドレミファソラシドを1オクターブという。

メロディーが浮かばないそんなあなたのために.

- お風呂でリラックスする.
- チャリを全力で漕いで見る.
- 外に出て散歩してみる.
- 好きな曲を聞いてみる
- 目を閉じてベッドに入る(締め切り前はやらないほうがいいゾ)

最後に

最初のうちはスケールを守って適当にコードとメロディー
つけとば, 曲はできます。

頑張ってください()